



上岡 弓見子 社長

経 済のグローバル化が進む中、外資系企業の経営課題を解決し、国内におけるビジネスを支援する人事労務のコンサルティング会社がある。

「契約という概念が根付いていない日本の社会では、多くの外資系企業が自国の法律や考え方とのギャップに直面し、人に関する様々な問題を抱えています」と話すのは、特定社会保険労務士や米国公認会計士（USCPA）、ファイナンシャルプランナーなど多様な資格を持つ、株式会社マ

シャル・コンサルティンゲの上岡弓見子社長。外資系の金融会社で人事部門に携わっていた時、英語力に長けた社会保険労務士の存在がいかに重要であるかを痛感し、自らその役割を担おうと独立を決意した。

就業規則の作成・指導のほか、社会保険手続・給与計算業務、あっせん（労働紛争の解決）代理など、全ての相談に英文・英語で対応できる同社。法律との関わりが強い人事労務管理の専門家集団として、外資系企業の経営者と社員の間に起こるトラブルの円満な解決に貢献している。

「例えば、退職勧奨は経営者にとっても辛い仕事です。私たちが間に入って認識を整理し、法律という道具を使ってアドバイスすること

で、お互いが笑顔で次のステップへ向かえるようになります」（上岡社長）

また、コミュニケーション手段として、サーバーを必要としないIP電話サービス「スカイプ」を活用。時間と場所を問わず、日本全国と海外から寄せられる労務相談に瞬時に応え、効率的なコンサルティンゲサービスを提供している。

大震災からの復興に向け助成金の活用をアドバイス

時間外労働の削減や在宅勤務の導入を推奨するなど、ワーク・ライフ・バランスに対応した就労制度を企業に提案し、セミナー・研修活動を通じて自身のノウハウを提供する上岡社長。自社でも子育て中の女性を在宅勤務で採用するなど、

女性が安心して働ける職場づくりを実践している。

「業種によっても異なりますが、業務効率化やコスト削減に向け工夫できる所がたくさんあります。社員の『多様性』を管理し、同じベクトルに向かわせる事が重要です」（上岡社長）

昨年12月に静岡市女性会館で開催された「ブラザー」女性限定のセミナー「ワタシが選ぶこれからのワタシ」では、年収300万円時代の到来が現実味を帯びる中、30代女性が直面する仕事とお金の悩みに対し、アドバイスを送った。

また、「東日本大震災」による企業活動への影響を懸念し、計画停電に適応するための労働時間の配分・設

計を見直すコンサルティンゲが必要だと考え、提案する上岡社長。ホームページでは、復興への助成金活用を促す情報提供も行なう。

「助成金の存在と活用方法を知らないだけでも希望が湧いてきます。被災した企業には是非ご相談頂き、1社でも多くの事業継続をお手伝いしたいですね」と、上岡社長は話す。（谷）

【会社データ】
本社 神奈川県横浜市中区山下町24-8-405
TEL 045-212-0681
設立 2004年10月
事業内容 外資系企業の人事労務支援、経営コンサルティンゲ
<http://www.mashr.co.jp>

マールシヤル・コンサルティンゲ 英語対応で外資系企業の人事労務をサポート 「多様性」を管理し、新たな就労制度を提案

（神奈川）

全てに英文・英語対応が可能な事業内容

- 外資系企業の支援
 1. 就業規則・諸規定の作成・指導
 2. あっせん代理（トラブル解決）
 3. 人事労務顧問
 4. 社会保険手続・給与計算業務
 5. 日本駐在外国人（エクスパツ）のグロスアップ計算
- コンサルティンゲ・サービス
 1. 人事考課制度・賃金制度の構築
 2. 退職金（再）設計の支援
 3. 研修・セミナー・考課者訓練
 4. ワーク・ライフ・バランス・コンサルティンゲ



東北地方太平洋沖地震被害に伴う雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金の活用について

<http://www.mashr.co.jp/products/assistance1103.html>
(英文) <http://blog.goo.ne.jp/mashrconsulting>